

# 事務事業チェックシート

事務事業No 777 事業名 地場産業振興事業

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	2	商工業の振興
基本方針	1	地場産業の振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		商工費
	項		商工費
	目		通商産業振興費
	大事業		通商産業振興事業
	事項		地場産業振興事業

事業種別		主な事務事業
事業期間	H25	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	商工振興課	小嶋 義之(435-1233)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	わかやまブランド育成事業、商品開発、販路開拓支援、人材育成			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで本市地場産業の振興を図る。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 ・地場産業技術向上支援事業補助金 ・地場産業販路開拓等支援事業補助金 等				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	6,162	6,162	6,100	5,660	6,153		6,153		6,153	
	伸び率 (%)	-	-	-1.0%		0.9%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員		4,178	3,368	4,156	4,156		4,156		4,156
		非常勤職員									
		小計		4,178	3,368	4,156	4,156				
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源(税等)		6,162	6,100	5,660	6,153		6,153		6,153	
	所要人数	常勤職員		0.55	0.45	0.56	0.56		0.56		0.56
非常勤職員											
主な予算内訳		負担金補助及び交付金6,000千円等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	工業団体が行う各種展示会開催・出展数				年度目標値	8	8	8	8	
					実績値	8	8			
	単位	事業	全体目標値	8	全体目標達成度	100.0%	100.0%			
					年度目標値					
					実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度						
成果指標	製造品出荷額等(工業統計調査)				年度目標値	13,500	13,800	14,100	14,400	14,730
					実績値	14,998				
					年度別達成度	111.1%				
					年度目標値					
					実績値					
	単位	億円	全体目標値	14,730	全体目標達成度					
				年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業への補助により、国内外のバイヤーや一般消費者に対して新たな販路開拓や当市地場産業をPRすることができた。 今後も販路開拓の支援や人材育成の分野でも支援が必要なため、引き続き補助が必要。
「見直し」 「改善」案	引き続き国内外での展示会や出展を行い、販路開拓を図るとともに和歌山ブランドの育成にも寄与する。 また、人材育成には時間を要するため中長期にわたり支援を行っていく。